

『妙法院日次記』による開帳記録

八 木 意 知 男

要 旨

近世期には、各地で寺社開帳の事があった。自坊で秘仏等を公開する場合もあったし、他所へ赴いて公開する所謂出開帳も多く認められる。また、開帳に際して靈宝が公開される場合もあり、この時には刷り物も作られる事があった。展覧目録あるいは略縁起の類いである。

ところが、開帳の実際を知る事は容易な事ではない。開帳の有無すら把握は困難と言い得る。しかしここに『妙法院日次記』（刊行分二十一冊）があり、幸いに活字化された本も『史料纂集』（続群書類従刊行会）に備う。そこで、『妙法院日次記』から開帳記事を拾い手控えとしていたものを年表様に組み資料として開示する。他資料との校合や展覧目録等の存在の有無は別である。

キーワード

開帳 本尊・靈宝 妙法院日次記 近世期 京都

社寺秘蔵の神仏を開扉して衆人に公開、結縁を目的とする宗教行事「開帳」は、元來、布教の為の営みであった。ところが、近世期には社寺經濟の困窮を救う目的を主眼とする勸化の為の開帳が増加する。これは居開帳であっても出開帳であつても同じである。

衆人の側は、物見遊山の延長線上で開帳を楽しむ。故に人々が集いやすい場所、出歩きやすい時節を選定しての開帳となる。ここに近世都市生活の一面が存在する。

近世期江戸の開帳の実態を伝える記録に『武江年表』そして『開帳差免帳』が知られている。『開帳差免帳』は幕府の記録であり、『武江年表』は齊藤月岑による開帳享受の書留である。この二資料を効果的に用いて江戸における開帳の実態の多面性を浮きぼりにしたのは比留間尚『江戸の開帳』（西山松之助編『江戸町人の研究』二、吉川弘文館、昭和四十八年）であり、この比留間著をさらに深化させると共に、日蓮宗寺院全体の開帳問題を説いたのは北村行遠『近世開帳の研究』（名著出版、平成元年）であつた。

しかし、これ等には近世期京都の実態はあまりふれられていない。幕府の統制は京都にも及んだはずのものであり、この実態は是非把握して置きたい。折柄、開帳記録を多く含むものとして『妙法院日次記』が存在する。本稿ではこれに限定して開帳記事を拾い、開帳研究の柱建てとする。開帳の場と信仰掛軸の存在とは近い間柄にあると考へてのことである。

天台宗門跡寺院の雄たる妙法院には、近世期元禄五年（一六九二）からの日次記が残る。続群書類従完成会『史料纂集』

所収本として一部分が活字公刊されてもいる。妙法院は、豊臣秀吉の値遇を得て後白河法皇の法住寺跡と秀吉の大仏殿（広福寺）を所管することになる。徳川家康もこれを安堵した為、広大な地域を境内地とした。故に、現東山七条界限の近世を語るのに当該『妙法院日次記』は不可欠の資料である。

一方、現東山七条には京都国立博物館が存し、折々に人々の目を寄せつける。この博物館が当該地に設置される以前、既にして博物館的役割を当該地が担っていた事を『妙法院日次記』は物語っている。すなわち、諸神社仏閣の開帳記事が多く書留められているのである。

以上に鑑み、本稿ではこの『妙法院日次記』の中から開帳記事を抜き出し、博物館史あるいは宗教史の一貫としての資料としてこれを開示する。近世期はある種神社仏閣の受難期であって、困窮に喘ぐ社寺が勸化の為に続々と開帳する事態の一部分を把握したいが為である。

また、例えば妙法院御門跡御末寺大仏塚前の専定寺は安永五年（一七七六）三月三日より五十日間の開帳をなした。本尊の後白河法皇御安置阿弥陀如来とその他靈仏・靈宝の開帳である。この中、靈宝の目玉は妙法院からの拝借物で、その拝借目録が『妙法院日次記』第十八、安永五年三月朔日条に書留められている。内訳は次の通り。

- 一、後白川法皇御影一幅箱入
- 一、後小松院御宸翰一幅箱入
- 一、慈恵大師御自筆法華経六之卷一幅箱入
- 一、舍利塔厨子入一基
- 一、源頼朝文一幅
- 一、御文台并御硯箱共一通箱入
浅黄服紗包

一、四睡^(ママ)香炉建部内匠頭作一箱

一、青貝卓一

一、御紋付紺絹幕一張

一、同白幕式張

一、翠簾式枚

これ等宝物（ただし、御紋付幕以下は宝物ではない）の真偽はさておき、開帳宝物をまとめ刷り物にし開帳目録として頒布することがあった。今日の展覧図録である。これを見ると古典も含めて様ざまな品が「靈宝」の名のもとに開帳されていると知られる。故にこれ等開帳目録からは国文関係品をも含めた流布の問題が浮び上ってくる。

何れにしても、社寺の開帳が今日の我々に投げかける問題は大きく、遺漏あるを承知の上でとりあえず年表様に一覧表とする。

『妙法院日次記』内開帳記録

『妙法院日次記』による開帳記録

	開帳内訳	典拠記事
元禄7年 1694	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 2) 三鈷寺本尊開帳 (於蔵王権現社、4月7日) 3) 信州善光寺阿弥陀佛開帳 (於真如堂 7月24日～8月30日)	元禄 16.5.27 元禄 7.4.7 元禄 7.6.27 8.3 8.30 9.5 9.6
元禄8年 1695	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日)	
元禄9年 1696	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日)	
元禄10年 1697	1) 後白河法皇尊像開帳 (3月13日) 2) 江州浅井郡三河村玉泉寺大師開帳 (於自坊、3月22日)	元禄 10.3.22
元禄11年 1698	1) 後白河尊像開帳 (3月13日)	
元禄12年 1699	記事ナシ	
元禄13年 1700	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日)	
元禄14年 1701	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日)	
元禄15年 1702	1) 小松谷地蔵堂小町守及本尊等開帳 (於自坊、2月24日～4月14日、小町800年忌) 2) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 3) 城州葛野郡牛ヶ瀬村観音寺本尊開帳	元禄 15.2.24 4.14 享保 17.3.9
元禄16年 1703	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 2) 妙法院境内専定寺本尊等開帳 (於自坊、3月13日～5月8日) 3) 妙法院境内専称寺観音并宝物開帳 (於自坊、3月17日～5月8日) 4) 今熊野観音本尊開帳	元禄 16.3.13 5.8 元禄 16.3.7 5.8 享保 10.9.13 享保 10.9.17
宝永元年 1704	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 2) 革堂観音開帳 (於自坊 ～)	宝永元 .5.9
宝永2年 1705	1) 行真 (後白河) 法皇御影開帳 (3月13日) 2) 信州善光寺阿弥陀開帳 (於八坂庚申堂 ～) 3) 因幡堂薬師開帳 (於自坊 ～)	宝永 2.3.16 宝永 2.4.19

宝永 3 年 1706	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
宝永 4 年 1707	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日) 2) 江州石山寺観音開帳 (於自坊、6 月 25 日) 3) 岩間寺本尊観音開帳 (於自坊、6 月 25 日)	宝永 4.6.25 宝永 4.6.25
宝永 5 年 1708	記事ナシ	
宝永 6 年 1709	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
宝永 7 年 1710	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
正徳元年 1711	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
正徳 2 年 1712	記事ナシ	
正徳 3 年 1713	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
正徳 4 年 1714	1) 山崎宝寺本尊并霊宝開帳 (於長閑寺) 2) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	正徳 4.2.22
正徳 5 年 1715	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
正徳 6 年 (享保元年) 1716	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 2 年 1717	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 3 年 1718	1) 師子谷 (鹿ヶ谷) 石不動開帳	享保 3.2.30 3.4 5.13
享保 4 年 1719	1) 行真法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 5 年 1720	1) 行真法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 6 年 1721	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 7 年 1722	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	

享保 8 年 1723	1) 清閑寺村 玉章地藏胎内 小町石塔開帳 (於自坊 (清心尼)、3 月 1 日～3 月 18 日、小町 850 年忌)	享保 8.3. 朔 3.18
	2) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
	3) 七条新地 松明殿稻荷 開帳(5 月 4 日～6 月 13 日)	享保 8.5.4
享保 9 年 1724	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 12 日～3 月 13 日)	享保 9.3.12 3.13
享保 10 年 1725	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 11 年 1726	1) 妙法院末大仏上七軒町 専称寺本尊 観音開帳 (於自坊、2 月 11 日～3 月晦日、本堂修覆、 開山 100 年忌、聖宝作馬頭観音)	享保 10.9.12 9.13 9.16 9.17 12.21 12.23 享保 11. 正 .23 2.10 3.29 4. 朔
	2) 後白河法皇御正忌御影開帳 (3 月 13 日)	
	3) 今熊野 観音開帳	享保 10.9.17
	4) 南都紀寺 璉城寺本尊 開帳 (於養源院、2 月 11 日～3 月晦日、本堂大破) (并紀有常 850 年忌)	享保 10.11.5 11.6 11.24 12. 朔 享保 11.2.11 2.12 4.2
	5) 新熊野 役行者開帳 (於六角住心院)	享保 11.2.11 2.23 宝曆 10.2.19
	6) 江州日野中山 金剛定寺 観音開帳 (於自坊、)	享保 11.2.16
享保 12 年 1727	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 13 年 1728	記事ナシ	

享保 14 年 1729	1) 後白河法皇御正忌開帳 (3 月 13 日)	
	2) 清和院本尊等開帳 (於自坊、2 月 24 日～4 月 4 日、清和天皇 850 年忌)	享保 14.2.25
	3) 丹州船井郡池上村 五大山大日寺 本尊大日如来并靈宝開帳 (於養源院、8 月 20 日～閏 9 月 20 日～10 月 10 日、大破建立の為、)	享保 14.7.20 8.2 8.3 閏 9.19
	4) 泉涌寺来迎院 荒神 開帳 (於自坊、8 月 20 日～閏 9 月 20 日～10 月 10 日、勸化の為)	享保 14.8.27 閏 9.14 閏 9.19
享保 15 年 1730	1) 後白河天皇御影開帳 (3 月 13 日)	
享保 16 年 1731	記事ナシ	
享保 17 年 1732	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (3 月 13 日)	
	2) 笠寺開帳 (3 月 3 日～)	享保 17.3.11
	3) 城州葛野郡牛ヶ瀬村 観音寺 本尊開帳 (於自坊、3 月 17 日～4 月 17 日～5 月 7 日)	享保 17.3.9 3.11 3.17 4.13 5.7 5.8
	4) 妙法院境内塗師屋町 3 組 笠山荒神 開帳 (4 月 28 日、新日吉夜宮)	享保 17.4.28
享保 18 年 1733	1) 後白河院御正忌 (3 月 13 日)	
	2) 高野山萱堂安養山伽藍本尊開帳 (於養源院、3 月朔日～4 月 21 日)	享保 18.2.6 3.朔 4.21
享保 19 年 1734	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	
享保 20 年 1735	1) 河州下太子 勝軍寺 本尊并靈宝等開帳 (於養源院、 ~ 4 月 8 日～4 月 13 日)	享保 19.12.6 12.11 12.12 享保 20. 閏 3.27
	2) 壬生寺地蔵院本尊開帳	享保 20.4.4
元文元年 1736	1) 石山寺 本尊開帳 (於自坊、3 月 6 日～)	元文元 .4.23 4.24

元文2年 1737	1) 城州宇治田原大道寺村清寿庵観音堂本尊并 靈宝開帳 (於養源院、大破勸化、3月6日～4月25日) (～6月10日)	元文元 .12.18		
		12.19		
		12.20		
		12.24		
		12.25		
		12.27		
		元文 2.2.19		
		3.4		
		3.28		
		6.11		
元文3年 1738	2) 比叡山黒谷青龍寺本尊円光大師并靈宝開帳 (於寺町法然院、2月25日～3月25日)	元文 2.2.17		
		4.20		
		明和 3.8.11		
元文4年 1739	3) 山崎宝寺本尊開帳 (3月2日) 4) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 2) 泉涌寺塔頭善能寺本尊正観音并靈宝開帳 (於養源院、3月3日～、為焼亡再建)	元文 2.2.29		
		元文 2.12.20		
		12.24		
		元文5年 1740	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 2) 城州宇治郡北花山村元慶寺本尊開帳 (於養源院、4日朔日～4月晦日～5月11日) (堂塔大破の勸化)	元文 4.3.13
				3.18
				3.27
				4.27
				5.9
				5.11
		元文5年 1740	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日) 2) 妙法院末専定寺本尊開帳 (於自坊、3月3日～4月23日～5月朔日、本尊 (は後白河院護持仏、他に妙法院より拝借靈宝)	元文 5.2.12
2.14				
2.16				
2.28				
4.18				
5.朔				
5.3				
元文 4.12.16				
元文5年 1740	3) 和州矢田山金剛山寺本尊地藏并寺宝等開帳 (於養源院、3月19日～5月10日、無知行貧) (山につき)			元文 5.2.5
				4.16
		5.10		
		5.13		

元文 6 年 1741	1) 後白河法皇御正忌御影開帳	元文 6.3.12 3.13
	2) 信州善光寺本尊開帳 (於養源院、3月15日～5月16日)	元文 5.11.6 11.14 11.20 11.22 12.16 元文 6. 正 .23 寛保元 .3.21 4.15 4.18 5. 朔 5.4 5.12 5.16
	3) 城州相楽郡鷲峰山寺本尊并靈宝等開帳 (於養源院、3月15日～4月30日～5月16日、) (大破再建の為)	元文 5.11.22 12.8 元文 6. 正 .23 寛保元 .4.15 4.19 5. 朔
寛保 2 年 1742	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日)	
	2) 江州堅田海門山満月寺浮御堂本尊并靈宝開帳 (於養源院、3月17日～)	寛保元 .12.13 12.14
寛保 3 年 1743	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (3月13日)	
	2) 江州栗太郡大石庄若王寺本尊大日如来開帳 (於養源院、4月27日～5月6日～5月21日)	寛保 3.4.12 4.19 4.20 4.23 4.25 4.27 閏 4.24 閏 4.26 5.11 5.12 5.22
延享元年 1744	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (3月13日)	
延享 2 年 1745	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (3月13日)	
延享 3 年 1746	1) 後白河法皇御影開帳 (3月13日)	

延享4年 1747	1) 後白河法皇御正忌 (3月13日) 2) 摂州四天王寺聖徳太子像開帳 (於東山長楽寺、4月15日)	延享 4.4.15
延享5年 (寛延元年) 1748	1) 行真法皇御影開帳 (3月13日) 2) 妙法院末専定寺本尊開帳 (於養源院、3月11日～)	延享 5.2.23 3.9 3.11 3.18
	3) 山崎宝寺本尊開帳 (於大坂、3月8日～)	延享 5.3.8
寛延2年 1749	1) 行真法皇御影開帳 (3月13日)	
寛延3年 1750	1) 行真法皇御影開帳 (3月13日) 2) 小松谷上馬町三嶋大明神神宝等開帳 (於養源院、) 3) 濃州横倉寺本尊并靈宝開帳 (於清水寺成就院、)	寛延 2.12.19 3.3.11 寛延 3.2.23 3.2
寛延4年 (宝暦元年) 1751	1) 行真法皇御影開帳 (3月13日)	
宝暦2年 1752	1) 行真法皇御影開帳 (3月13日)	
宝暦3年 1753	2) 醍醐巖間寺観音開帳 (於今熊野芳春寺、4月28日)	宝暦 3.4.28
宝暦4年 1754	1) 行真法皇御正忌御影開帳 (3月13日) 2) 西加茂靈源寺開帳 (於自坊、3月12日)	宝暦 4.3.12
宝暦5年 1755	1) 蓮華王院塔頭宝生院毘沙門天開帳 (正月4日) 2) 行真法皇御正忌御影開帳 (3月13日)	宝暦 4.正.4
宝暦6年 1756	1) 行真法皇御影開帳 (3月13日) 2) 江戸芝泉岳寺開帳 (於清閑寺、 ~4月28日) 3) 勢州高田専修寺門跡兼帯所本尊阿弥陀如来開帳 (於河原町二条上ル妙法院御里坊)	宝暦 6.4.28 宝暦 6.5.15
宝暦7年 1757	1) 行真法皇御正忌御影開帳 (3月13日) 2) 東福寺開帳 (於自坊、3月上旬から4月23日) 3) 西加茂靈源寺聖徳太子作地藏菩薩開帳 (於自坊、8月21日～50日間、東山院50回忌為)	宝暦 7.4.23 宝暦 7.8.13

宝曆 8 年 1758	1) 行真法皇御正忌御影開帳 (3 月 13 日) 2) 河州道明寺天満宮開帳 (於四条道場、4 月 4 日)	宝曆 8.4.4 宝曆 9.2.29
宝曆 9 年 1759	1) 河州道明寺開帳 (於大坂表、) 2) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	宝曆 9.2.29
宝曆 10 年 1760	1) 蓮華王院塔頭宝生院毘沙門堂本尊開帳 (於自坊、3 月 3 日～4 月 23 日～5 月 1 日本) (堂再興の為)	宝曆 9.11. 朔 宝曆 10.3.3 4.19 5.1 5.2 5.10
	2) 泉涌寺塔頭今熊野観音寺開帳 (於自坊、)	宝曆 10.2.16 2.19 2.21 3.3
	3) 泉涌寺塔頭来迎院荒神開帳 (於自坊、3 月 3 日～)	宝曆 10.2.29 3.3
	4) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
宝曆 11 年 1761	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
宝曆 12 年 1762	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
宝曆 13 年 1763	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (於法住寺、3 月 13 日)	
	2) 西九条知恩院末福田寺開帳 (於自坊、3 月 16 日～3 月 29 日～4 月 4 日)	宝曆 13.3.2 3.12 3.13 3.29 4.6
	3) 小松谷正林寺開帳 (於大坂阿弥陀池、3 月 9 日～4 月 29 日)	宝曆 13.3.9 5.2
宝曆 14 年 (明和元年) 1764	1) 葛野郡牛ヶ瀬村観音寺本尊開帳 (於自坊、3 月 3 日～4 月 3 日)	宝曆 14.2.25 2.26
	2) 後白河法皇御正忌御影開帳 (於法住寺、3 月 13 日)	
	3) 山科北花山元慶寺本尊薬師并僧正遍昭影像等 開帳 (於蓮華王院内宝生院毘沙門堂、3 月 18 日～)	宝曆 14.3.18
	4) 泉涌寺観音開帳 (於自坊、 ~ 4 月 29 日)	宝曆 14.5. 朔

明和 2 年 1765	1) 蓮華王院内宝生院毘沙門堂本尊毘沙門天開帳 (於自坊、如例年、正月 26 日)	明和 2. 正 .26
	2) 行真法皇御正忌御影開帳 (3 月 13 日)	
明和 3 年 1766	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	
	2) 北野妙藏院開帳 (3 月)	安永 9.4.20
明和 4 年 1767	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	
	2) 山門西塔黒谷青龍寺本尊円光大師開帳 (於寺町綾小路下ル法然院、3 月 15 日～4 月 15 日)	明和 3.8.11 11.24 明和 4.2.25 2.27 2.29 2. 晦 3.10 4.21 5.4
明和 5 年 1768	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	
明和 6 年 1769	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	
明和 7 年 1770	1) 後白河院尊儀御正忌 (3 月 13 日)	
	2) 新日吉社末飛梅天神神影開帳 (於朝日宮、8 月 17 日～9 月 1 日)	明和 7.8.13
明和 8 年 1771	1) 後白河法院御正忌 (3 月 13 日)	
安永元年 1772	記事ナシ	
安永 2 年 1773	1) 法住寺法華堂にて御法事如例 (3 月 13 日)	
	2) 宝生院毘沙門天開帳 (於自坊、3 月 15 日～閏 3 月 15 日、為本堂再興)	安永 2. 正 .2 3.12 3.15 4.6 4.7
安永 3 年 1774	1) 於法住寺後白河法皇御法事 (3 月 13 日)	
	2) 粟生光明寺開帳 (於大坂表、)	安永 3.5.19

- 安永 4 年 1775
- 1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)
 - 2) 播州御嶽山清水寺本尊十一面并千手観音等開帳
(於大坂大融寺、3 月 3 日～4 月 22 日、本堂)
大破の勸化 安永 3.6.3
 - 3) 勸修寺本堂千手観音開帳 安永 3.12.21
(於自坊、3 月 3 日～4 月 22 日)
 - 4) 男山八幡神宮寺曼荼羅開帳 安永 3.12.21
(於自坊、3 月 3 日～4 月 22 日)
 - 5) 毘沙門天堂開帳 安永 3.12.21
(於自坊、3 月 3 日～4 月 22 日)
 - 6) 廬山寺開帳 (於自坊、3 月 4 日) 安永 4.2.9
3.17
 - 7) 遣迎院開帳 安永 4.3.17
- 安永 5 年 1776
- 1) 後白河院御正忌 (3 月 13 日)
 - 2) 妙法院末專定寺本尊阿弥陀如来并靈宝開帳 安永 4.2.16
(於自坊、3 月 3 日～4 月 13 日) 2.26
安永 5.2.21
2.24
2.27
3. 朔
3.7
3.10
4.14
 - 3) 大仏殿御内仏并靈宝開帳 安永 3.12.21
(於自坊、3 月 3 日～50 日間、予定スレド無) 4. 正 .16
正 .26
正 .29
2.9
2.10
2.18
2.19
11.29
12. 朔
12.6
12.10
- 安永 6 年 1777
- 1) 後白河法皇御法事 (3 月 13 日)
 - 2) 城州鹿ヶ谷村安楽寺開帳 (～4 月 24 日) 安永 6.4.24
- 安永 7 年 1778
- 1) 後白河法皇御法事 (3 月 13 日)
- 安永 8 年 1779
- 1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)

安永 9 年 1780	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (於法住寺、3 月 13 日)	
	2) 北野妙藏院開帳 (於大坂生玉八幡社、4 月 19 日～、) 為堂舎大破勸化	安永 9.4.20
	3) 信州善光寺本尊阿弥陀如来開帳 (於廬山寺、)	安永 9.4.28
天明元年 1781	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	
	2) 大仏殿御腹内諸人拜見 (於自坊、3 月 15 日～5 月 6 日)	安永 10.3.15 天明元 .5.18
天明 2 年 1782	1) 後白河法皇御法事 (3 月 13 日)	
天明 3 年 1783	1) 後白河法皇御法事 (3 月 13 日)	
	2) 一乗寺元三大師并宝物開帳	天明 3.3.27
	3) 寺町革堂観音開帳	天明 3.4.14
天明 4 年 1783	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	天明 4.3.12 3.13
	2) 妙法院々家日蔵院開帳 (於自坊、閏正月 27 日 ～3 月 25 日)	天明 4.2.2 3.25 3.27 3.29
	3) 五条御影堂 (長講堂) 開帳	天明 4.3.26
	4) 寺町浄教寺開帳	天明 4.3.26
	5) 大雲院開帳	天明 4.3.26
天明 5 年 1784	1) 後白河法皇御正忌 (3 月 13 日)	
天明 6 年 1785	1) 後白河法皇御正忌御影開帳 (3 月 13 日)	
	2) 東山禅林寺開帳	天明 6.4.28
天明 7 年 1786	1) 後白河法皇御影開帳 (3 月 13 日)	
	2) 北野勝安養院兼帯摂州平野大念仏寺開帳 (、3 月 1 日～)	天明 7.2.22 2.25 3.3 3.21 3.22
	3) 醍醐一言寺観音開帳	天明 7.4.7